

# ハンドボール NO14

Japan  
Handball  
Association



<input type="checkbox"/>	社会人
<input type="checkbox"/>	学生
<input type="checkbox"/>	高専
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連
<input type="checkbox"/>	中体連
<input type="checkbox"/>	小学生

<input checked="" type="checkbox"/>	全国大会
<input type="checkbox"/>	ブロック大会
<input type="checkbox"/>	都道府県大会

<input type="checkbox"/>	男子
<input checked="" type="checkbox"/>	女子

試合 番号	p
----------	---

年月日	2022 年 10 月 9 日 (日)
大会名	第77回いちご一会とちぎ国体

## 公 式 記 録 用 紙

A 京都府						東京都						B		
栃木県		下野市				下野市石橋体育センター				決勝				
前半	A 14	B 14	最終 結果	A 32	B 27	第1 延長	A	B	第2 延長	A	B	7m 17分	A	B
7m得点/総数		A 3/3		チームタイムアウト			チームタイムアウト			B 1/1		7m得点/総数		
		1 2 後3					1 2 後3							
		2357					2008 2520							

No.	京都府	G	W	2'	2'	D	DR	No.	東京都	G	W	2'	2'	D	DR
1	川崎麻央							1	堀江里奈						
2	田中志織	5	1					2	佐茂春陽	2					
3	烏藤梨花							3	福田舞希	4		1			
4	桐村光優	7		1				4	木尾珠里奈	7		1			
5	中尾 藍	4						5	長谷川 凛						
6	小川優花	6		1				6	石井杏珠	5	1				
7	鎌倉明日香							7	市橋菜々子	3					
8	大宮万葵	2						8	井橋萌奈						
9	西垣晴菜	5						9	井上咲稀						
10	有本都恵	3						10	小佐野 渚	1					
11	岩木ひなた							11	佐々木彩華	5		1	1		
12	奈良明音							12	竹谷梨花						
監督A		西村 純						監督A		須川文敬					
役員B		吉本知紘						役員B		榎本満里奈					
役員C		田村由佳						役員C		田中久樹					
役員D		村田遥香						役員D		熊谷悠帆					

A	西村 純	チーム役員A署名	須川文敬	B
---	------	----------	------	---

特記事項

レフェリー	岸 裕太	上飯坂 知希	岸 裕太	上飯坂 知希
TD	野中 毅	北嶋 浩	野中 毅	北嶋 浩
MO	中野 利一		中野 利一	

得点(G),警告(W),退場(2),失格(D),報告書付き失格(DR)特記事項に報告書として内容を記入

# ハンドボール No.13

第77回国民体育大会いちご一会とちぎ国体

## 試合結果・戦評報告書

競技日	10月9日(日)	試合番号	D-p	回戦	決勝
種別	少年女子	会場	下野市石橋体育センター		
Aチーム名			Bチーム名		
京都府			東京都		
得点合計	小計		小計	得点合計	
32	14	前半	14	27	
	18	後半	13		
		第1延長前半			
		第1延長後半			
		第2延長前半			
		第2延長後半			
		7mTC			

### 戦評

前半立ち上がり、京都⑥小川がロングシュートで先制得点。対する東京は④木尾がカットインからのシュートで初得点、続いて同じく④木尾がロングシュートで2点目。京都も②田中がカットインから2点目。スピード感ある攻防が続く。7:01、京都⑥小川が退場となり、その間に東京は⑩佐々木がサイドからのシュートで追加得点。京都はペナルティシュートを④桐村が決め、同点に追いつく。この後も互いに追加得点し、一進一退の状態となる。この間、京都は相手の退場でエンペティゴールでのシュートチャンスがあるものの、これを生かせず、得点ならず。23:57、13対10で東京リードの状態、京都が本日1回目のタイムアウト。この後、東京⑩佐々木が退場となる中、京都④桐村がペナルティシュートを決め11点目。続く⑩有本が速攻からのシュートで12点目を決め、点数差を1点差まで縮める。更に京都⑩有本がサイドからのシュートを決め、13対13の同点に追いつく。前半は京都⑤中尾がノータイムでのロングシュートを決め、14対14の同点に追いついたところで終了となった。

後半立ち上がり、京都⑨西垣がサイドからのシュートで先制得点。対する東京は、その直後に③福田がポストプレーで同点に追いつくものの、更にその直後に京都⑨西垣にロングシュートで1点返される。互いの攻防が続き、点数が徐々に追加される中、東京が僅かに点数差を広げてリード。京都は徐々に追い上げ、12:35、21対21の同点に追いつくが、直後に東京②佐茂のポストプレーで1点返される。しかし粘り強く京都は②田中がカットインシュートでまた同点。一進一退が続く。僅かに京都が優勢となる中、東京がGKを下げて7人オフェンスで攻撃する中、エンペティゴールのチャンスがあったが、シュートが2度決まらず、得点できず。25対23で京都がリードする中で、東京が本日1回目のタイムアウト。京都が28対25でリードする中、25:20に東京が本日2回目のタイムアウト。その後も攻め合いが続くが、京都⑤中尾が最後にポストプレーで32点目を得点し、そこで時間切れとなって、32対27の得点差で京都が勝利した。

記載者氏名

塚田健夫 ・ 越花梨

送信日時

10月9日(日) 16:56